

学校目標	中長期的目標	今年度の重点目標
1 基本的な生活習慣を確立し、豊かな知識・表現力、創造的な思考力を身につけた生徒の育成を目指す。	I 自律的な生活習慣の確立を図る。	i 生徒の学習意欲向上と学習習慣定着のため、日々の授業の改善と充実に努める。
2 保護者、地域の方々の願いに謙虚に耳を傾け、健康でたくましい有為な若者の育成を目指す。	II 学習支援の環境を整備する。	ii 生徒会の委員会、クラブを通して、生徒の自律を促し活気ある学校づくりに努める。
3 学年、学級、教科担任、クラブ・委員会顧問、各係等が相互に連絡・連携をとり、公正な生徒への指導を目指す。	III 自己の適性の伸長と学力の向上を図り、希望進路の実現に向けた指導をする。	iii 生徒の進路実現に対応した進学対応型単位制の更なる研究および新教育課程の研究・準備をする。
	IV 全教職員の連携がより円滑に機能するような学校運営を行う。	iv 生徒の学力の向上のために、学校内各分掌及び様々な教育機関との連携に努める。
		v 保護者及び地域にむけて情報発信するとともに、さらに理解・信頼される学校づくりをする。

総合評価

今年度重点目標に対する成果と課題（前期）	評価（前期）	今年度重点目標に対する改善策・向上策（前期）
i 平日授業や土曜講座および学校全体の学習環境整備は進みつつある。授業アンケートと保護者アンケートも実施した。	B	アンケートを検討し、学習環境を一層向上させる。また日々の授業の改善と充実のための努力を継続していく。
ii 生徒会行事が概ね計画通りに行われた。各クラブ活動も全体的に順調な成績といえる。		生徒が積極的に先頭に立って活動できるようなサポートを行う。
iii 進学対応型単位制のシステムが定着したといえる。一方では新教育課程に向けて本格的検討を始めた。		新教育課程表の完成を急ぐ。同時にそれに合わせて進学対応型単位制の再確認と再整備をしていく。
iv 進路指導や学習指導、教務そして学年・教科間の連携が整備されつつある。		校内各分掌が滞りなく進む円滑な連携について更に研究する。また学力向上に向けて大学との連携も図る。
v 学年・進路からの通信も定期的に発行される一方、インターネットでの活動紹介も常時行った。また学校周辺の早朝清掃も全クラブで実施している。		現在の活動を絶やさないようにするとともに、生徒会やクラブ、生徒個人などの地域交流やボランティアなどの活動も学校として把握しバックアップしていく。

＜評価＞ A:達成 B:ほぼ達成 C:改善の余地有り

領域	対象	今年度の具体的目標（評価項目）	評価の観点	成果と課題	評価	改善策・向上策
教育活動	教育課程	1 平成24年度から先行実施される数学と理科の新教育課程を研究し、本校生徒の進路希望に対応した教育課程をつくりあげていく。	・各教科の協力を得ながら数学と理科の新教育課程を分析し、その結果を踏まえきめ細かなカリキュラムとなっているかどうか。	各教科で新教育課程の内容を検討し、本校の教育目標に照らした大まかな科目編成を決定した。細部については現在検討中である。	B	平成24年度から始まる新教育課程の実施に向けて、来年度平成23年度6月頃を目途に細部を検討していきたい。
		2 教育課程上の改善点を検討する。	・進学対応型単位制を含め、特色ある教育課程の実現に向け、生徒・地域の多様な要望に対応したカリキュラムになっているかどうか。	各教科の協力をいただき、現行教育課程の確認を何回か行った。現在、来年度の教育課程作成中である。	B	来年度の教育課程を引き続き細部にわたって検討し、早い時期に確定したい。
	学習指導	学習習慣の確立を図る。	家庭での学習習慣を確立させる指導ができたか。 学習合宿・オリエンテーションは効果的であったか。	HR担任との面談や生活時間調査などを通して家庭学習習慣確立の指導は継続的に行われた。 1・2年生の学習合宿や入学直後の1年生のオリエンテーションは学習習慣の確立や高校の学習スタイルの理解に役立った。	A	今後も学習習慣の確立や定着を目指して必要な指導を続ける。 学習合宿の期日・期間・会場については必要な検証をする。
		放課後や土曜日の自主学習支援の充実を図る	自主学習を支援するための学習環境の整備ができたか。	7月より全職員で自習室見回り当番を行い、自主学習の場の保障をできたが、自習室の利用はやや低調だった。	B	通年で自習室見回り当番を計画する必要がある。 自習室の利用増進を進めたい。
		教科指導力の向上を図る。	公開授業や授業研究会を有効に活用できたか。 授業アンケートが授業改善に活かされたか。	6月上旬に公開授業期間を設けたが、互いに参観して交流することは多授業アンケートは予定通り前期末の9月末に実施したので、集計結果の確認と活用は後期の初期になる。	B	授業アンケートについて、質問内容や項目の妥当性や集約の簡便化を検討したい。
職員間の連携した指導を充実させる。	成績・出欠・学力状況に関わる情報を職員間で共有し連携した指導ができたか。	ネットワークや学年会・職員会を通して情報が共有され指導に有効に活用された。	A	今後も生徒の学力向上や学校全体の教育力アップのために、必要な情報の共有を大切に考えていきたい。		
進路指導	1 国公立大学を中心とする生徒の希望進路の実現に向けた指導を適切に行う。	・センター試験（文系6—7型、理系5—7型）に多くの生徒が参加したか。 ・進路希望実現に向けての指導は適切であったか。	センター試験への出願率は98%で、ほぼ3年生全員が出願した。私立先願者についても、基本的には7科目で出願しており、指導の成果が表れた。	B	今後は生徒一人ひとりの進路希望実現に向けて適切な指導を行っていきたい。	
		2 後期日程廃止等の受験形態の変化に適切に対応する。	・生徒への情報提供等、指導が適切であったか。	進路通信等を通じて情報提供を行っている。24年度の大規模変更の前年ではあるが、入試の変更については適切に指導している。	B	実際の出願に向けての大学情報等を今後も適切に提供していきたい。
	3 『進路選択の手引き』、『合格体験記』を活用する。	・HRや教科での活用が進んだか。	各学年とも書き込み式のページを設けるなど積極的に活用している。特に考査・模試の振り返りと家庭学習記録の取り組みに力を注いでいる。	B	今後は『合格体験記』や『四阿おろしを身にかけて（職業案内）』もHRで積極的に活用していきたい。また、家庭学習記録については、成果を検証していきたい。	
	4 中学校や大学などの教育機関との連携を図る。	・中学校との連携を深めることができたか。 ・大学見学や模擬講義を通じて大学との連携を深めることができたか。	大学との連携を模索すべく、大学の先生方とコンタクトをとっているところである。	C	今後は具体的な連携内容を検討するとともに大学側と積極的に話を進めていきたい。中学校との連携は現在もまだ模索中である。	
	5 検討会や研修会の充実を図る。	・模試検討会、3年進路検討会や研修会を通して職員の共通理解が進み、生徒への指導に生かされたか。	卒業生入試研究会への職員参加状況が大変悪かったため、その後の模試検討会などでは積極的な呼びかけをし、状況は改善されてきた。3年進路検討会では担任間の共通理解が高まった。	B	今後は生徒理解と適切な指導のために検討会などを通じて職員の意識と理解を高めていきたい。外部講師を招いての大学入試研修会を現在企画中である。	
	6 大学見学会を実施する。	・より多くの生徒が大学見学会に参加したか。 ・生徒が大学の情報を得たか。	一人で2回参加する生徒が多く出るなど例年にもまして大学見学会に参加する生徒は多かった。実際に大学キャンパスを訪れることで情報を得るとともに生徒の意識向上に役立った。	A	来年度に向けての引き継ぎをしっかりとっておこなって、改善できるところは改善していきたい。今年度はOBにも協力してもらったが、来年度もこの取り組みは継続していきたい。	
	7 進路講座の充実を図る。	・各学年とも生徒の志望や関心に応える内容であったか。 ・指導の時期は適切であったか。	各学年とも必要な時期に進路講座を実施した。	B	今後も必要と思われる時期に実施していきたい。来年度に向けては、年度当初に実施計画をすべて決定しておくとしてLHR等の計画も立てやすくなるので、そのように改善していきたい。	
	8 夏期講座・土曜講座・特編授業の充実を図る。	・多くの生徒が熱心に参加できたか。 ・生徒の学力向上につながっているか。	予定通りに実施しており、生徒も熱心に参加している。	B	内容の精選や見直しなど、3年間を見据えた形での指導へと改善していく必要があるため、係としてそのような提言をしていきたい。	
	9 進路指導用教材を有効に活用する。	・サテライト授業が計画的かつ効果的に活用されたか。	昨年度にならって計画し、夏期休業中の学習に活用できた。	B	必要な時に繰り返し視聴できるようになっているので、活用する範囲を拡大し、さらに学力向上へとつなげていきたい。	
生活指導	1 自律的な生活習慣の確立を図る。	・挨拶をきちんとすることができたか。 ・遅刻を少なくすることができたか。 ・自転車を中心として、交通安全の意識を高めることができたか。 ・貴重品の管理を徹底することができたか。	・5月に第1回遅刻指導を行った。遅刻者は少ない。 ・4月に街頭で交通安全指導を行った。 ・年度当初に比べ、盗難被害が減ってきた。今後は小体育館の女子更衣室の対策が課題である。	B	・自転車通学願をきちんと提出させるための指導を行う。 ・貴重品の管理については、繰り返し呼びかけていく。特に小体育館の女子更衣室の使用規定について担当に検討してもらう。	

	2 集団生活の中で人間関係の確立を図る。	・生徒が安心して学校生活を送れるように、「いじめ」などがなく、「不登校生徒」などに対しても十分に支援をする体制づくりができたか。	・特別支援教育コーディネーター及びスクールカウンセラーを配置し、生徒の心の支援に配慮して指導を行った。 ・いじめ不登校等対策委員会と連携を図った。	A	・特別支援教育コーディネーターを中心に研修会を持つなど職員の知識や理解の向上を図っていく。	
	3 職員間で情報を共有し、関係機関や保護者との連携を図る。	・校外での情報交換を本校の指導に生かすことができたか。 ・関係機関や保護者との連携を密にした指導を行うことができたか。	・入学式やPTA総会等で本校の指導方針を保護者に伝えた。 ・「生活指導だより」を発行し、必要な情報を生徒や保護者に伝えた。	A	・前期の活動を継続する。	
	4 生徒会との連携を図る。	・校風委員会と連携して、「挨拶活動」、「自転車の施錠、駐輪マナーの向上活動」などを実施することができたか。	・「挨拶活動」、「指定の上履き調査」は実施できたが、「自転車の施錠、駐輪マナーの向上活動」は実施できなかった。	B	・「挨拶活動」は継続し、「自転車の施錠、駐輪マナーの向上活動」については、委員会から呼びかける。	
人権平和	1 基本的な人権に対する認識を深め、主権者としての自覚を高めるとともに、他者の人権を尊重する姿勢を育てる。	・人権や平和の問題について積極的に考え、行動する力を伸張する機会や場を設けることができたか。	・人権平和講演会は10月7日(木)に実施することができた。講師の田村望圓先生には「二胡が会わせてくれたもの」という演題で、小学校時代に受けたいじめの体験談を、二胡の演奏を交えながら語っていただきました。 ・2学年沖繩修学旅行では、事前学習も含めて、学年での取り組みや各教科の課題などを通して、さまざまな角度から人権や平和について考え、学ぶことができた。	B	・一分野の人権問題に留まらず、いろいろな分野での人権問題について、広い視野に立って生徒に考えさせる機会を設けていきたい。	
	2 自主的・民主的な集団づくり、仲間づくりを図る。	・ホームルームを中心に、生徒会活動、クラブ活動などを通じて、集団や仲間について学ぶ機会や体験する場を設けることができたか。	・文化祭(龍胆祭)の準備および当日の活動を通して、クラス・学年を超えた広い範囲での仲間づくりや自主的・民主的な場を体験することができた。 ・クラブ活動やクラス・学年の活動(クラスマッチ・大学企業見学など)を通して、集団や仲間について考える場を設けることができた。	B	・日頃の生活の中での仲間づくりについて、生徒にじっくり考えさせる時間や機会が取れるように努めたい。	
生徒会	「生徒会活動の活性化を図る。」 1 計画性を持って準備をし、実施後の反省を次に生かす。	・生徒会活動(特に、りんどう祭と卒業式第2部)、委員会活動、クラブ活動が計画通りに実施できたか。	行事は概ね計画通りにできた。地域の清掃活動に参加し、有意義であった。校風委員会を中心に朝の挨拶運動をおこなった。クラブ活動も活発で、好成績を残した。	A	各委員会の連携を密にし、積極的に計画し活動をさせたい。	
	2 活動を通して、自主性の涵養を図る。挨拶の徹底・校歌をしっかりと歌う	・自治活動や奉仕活動の達成感や満足感が得られたか。 ・朝の清掃活動が計画的に実施できたか。	朝の清掃活動は文化部も参加し良い取り組みができた。 慣れにより取り組みが甘くなることのないようにしたい。	A	生徒会が先頭に立って、活動をしていくことが重要である。	
	3 環境に配慮した取り組みを生徒会として行う。	・環境に関する企画をし、実施できたか。	落ち葉の堆肥作りは、取り組みは継続しているが今年度は堆肥にならなかった。来年度には配布できるよう引き続き取り組みを続けていきたい。ゴミの分別についてもよく取り組めた。	A	継続していくことと、更なる質の向上に向けた取り組みを考えたい。	
図書視聴覚	1. 図書館利用の拡大を図り、読書習慣を定着させる。	・図書館利用が増えたか。 ・図書の貸出数は増えたか。	・図書館利用は例年と同じくらいだと思われる。 ・図書の貸し出し数は多少増加している。	A	・引き続き、工夫しながら努力します。	
	2. 教科・授業、小論文への資料の充実を図る。	・利用者の要望に応じることができる資料の充実が図れたか。	・毎月発行の広報紙のリクエスト欄を活用して、要望に応じています。	A	・引き続き、工夫しながら努力します。	
	3. 冬期においても快適な環境を整え、更なる施設の利用を図る。	・冬期間、多くの生徒が利用したか。	・まだ冬期になっていないので、年間の評価でまとめた。			
	4. 視聴覚室及び視聴覚教材の有効活用と各部署との連携を図る。	・利用しやすい環境を整え、視聴覚室が有効に利用されたか。	・昨年度簡易的な機材を整備した。	B	・引き続き努力します。	
保健	1 心身の管理を図る。	1 保健室への来室者への対応が適切であったか。また、関係者や関係係との連絡・連携ができていたか。 2 緊急時、保護者への連絡および医療機関との対応が迅速・適切にできたか。 3 学校保健安全法に則り各種健康診断を計画的に実施し、事後指導が適切であったか。	・緊急時は保護者及び医療機関への連絡が迅速にできるよう、関係職員と協力している。 ・職員のためのAED講習会を実施した。 ・定期健康診断は計画通り実施し、その結果をもとに必要な生徒には、個別の指導を行った。	A	・今後も緊急時には、迅速に対応できるように努めたい。	
	2 環境の管理を図る。	1 学校環境衛生検査を適切に行い、その結果を生かされたか。 2 トイレが清掃され、清潔であるかの確認	・学校環境検査は計画通り、実施している。 ・校内の清掃や点検を、保健委員や運動クラブ等の生徒と共にやっている。	A	・継続した取り組みをおこなっていきたい。	
	3 保健指導を充実させる。	3 校内の危険箇所、安全に配慮が必要となる箇所の確認改善 1 生徒が自分の健康に関して興味関心をもてるような広報活動ができたか。 ・保健委員会等による広報活動 ・保健委員会の活動支援	・保健だよりおよび掲示物で広報活動を行っている。	B	・継続して広報活動をおこなうとともに、さらに充実した保健指導ができるように工夫をしていきたい。	
PTA	1 PTA総会、学年・学級PTAを活性化し、相互理解を図る。	・総会、学年・学級PTAに多くの人が参加したか。	・2学年PTAは「2010卒業生を送り出して」と題し、卒業学年担当者からの報告をメインに、保護者の方も熱心に参加されていた。	B	・昨年同様、午前中に授業参観、午後にはPTA総会を開催した。出席率は昨年の60%から56%に減少した。学級PTAが発足したので更に活動を活性化させたい。	
	2 PTA研修会を通して、高校生の健全育成・適性進路について研鑽を積む。	・PTA研修会の満足度が高かったか。	・各クラスとも半数以上の保護者の参加があった。進路に直結した講演で好評であった。(1年) ・PTA研修会は参考になる内容が多く、今後も続けて頂けるとよいと思います。(PTAアンケートより)	A	・懇親会の参加の人数を増やすことや内容の工夫が必要。日程を一週間前後にずらすなど検討したい。	
学校運営	教務	1 学校が更に円滑に運営されるように努める。	・諸行事の計画を早めに立て、生徒・教職員・保護者への周知徹底が図れたか。 ・月曆の発行がされたか。 ・文書処理、成績処理等のOA化をさらに推進できたか。	周知はできた。日程変更などで一部判断や連絡が遅れたところがあった。月歴発行は順調 一人一台のパソコン効果がある	B	日程の変更は早めの検討と連絡を目指す。
	2 校内の情報を外部に発信し、本校への理解を深めてもらう。	・授業公開、体験授業、学校説明会に多くの中学生・保護者・他校教職員・地域住民等に参加していただけたか。 ・ホームページ、ポスター等で学校の様子を紹介できたか。	公開授業・体験入学・学校説明会では多数の参加があった。 ホームページ更新・ポスター制作は順調にできた。また携帯用のホームページの整備もできた。	A	今年の反省を活かして来年度公開授業・体験入学・学校説明会のホームページのさらなる継続的管理を続ける。	
	予算施設	1. 老朽化および危険箇所への十分な対応をする。	・日頃安全確認ができているか。 ・危険箇所等を確認した場合は、速やかに改善できたか。	・要望のあった生徒への危険度の高いところから、費用等をみながら改修、改善をしていった。	A	現在は次年度に向けて要望を取りまとめている。
	2. 生徒の教育環境をより充実させる。	・教育環境等の整備ができているか。 ・学習活動に必要な備品等を整えることができたか。	・要望のあったものから費用等をみながら改修、改善をしている。床の痛みがひどい教室は表面を削り塗装を施した。備品については希望を取り予算内で執行を完了した。	A	現在は次年度に向けて要望を取りまとめている。	
	情報処理	1 情報処理機器及びネットワーク利用による校務の合理化の推進を図る。	・データベースを整備し、今まで以上の活用ができたか。 ・アプリケーションソフトの有効利用ができたか。	・公務使用パソコンの配置、設定等など整備を進めた。	B	・必要な機器の更新、整備に努める
	2 情報処理機器及びネットワークを利用した教育活動の推進を図る。	・授業で活用できたか。 ・授業や生徒の様子を外部に発信することができたか。	・情報科授業で進めている。 ・定期的にホームページを更新し、情報を発信した。	A	・ホームページの内容を点検し、更に見やすいものとする。	
	3 情報リテラシー教育の推進を図る。	・個人情報・著作権保護、セキュリティ確保の大切さを職員・生徒に伝えたか。 ・特別活動などで正しい知識と実践を指導できたか。	・年度当初に周知を図るとともに、情報関係の管理規定についてさらに整備を進めた。	A	・生徒、職員の個人情報に対する意識の向上を図る方策を考えたい。	
	防災	1 緊急体制を整備・確立する。	・生徒・職員の緊急連絡網が整備されたか。 ・避難訓練が有効に行えたか。	・連絡網については4月当初に準備できた。 ・避難経路は4月当初にきちんと周知徹底されている。	A	・緊急連絡網のみならず、防災計画書の内容についても検討を重ね、緊急時により適確に対応できるように努めたい。
	2 緊急時の対応方法を確立する。	・緊急避難経路が生徒に対して周知徹底されたか。 ・緊急時の対応が適切であったか。	・緊急時の対応が適切であったか。	B	・引き続き安全・安心な学校運営を目指す。特に、緊急時での校内放送設備にやや不安が見られるので、設備の充実に努めたい。	